

令和3年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


保 育 原 理

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「児童の権利に関する条約」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 1989（平成元）年に国連総会で採択され、同年に日本も締約国として批准した。
- B 第3条には、「児童に関するすべての措置をとるに当たっては、公的若しくは私的な社会福祉施設、裁判所、行政当局又は立法機関のいずれによって行われるものであっても、児童の最善の利益が主として考慮されるものとする。」とあり、「児童の最善の利益」という語句が記されている。
- C 第28条には、「締約国は、教育についての児童の権利を認めるものとし、この権利を漸進的にかつ機会の平等を基礎として達成するため、特に、(a)就学前教育を義務的なものとし、すべての者に対して無償のものとする。(以下略)」とあり、就学前教育の無償化について記されている。
- D 第44条には、「締約国は、(a)当該締約国についてこの条約が効力を生ずる時から2年以内に、(b)その後は5年ごとに、この条約において認められる権利の実現のためにとつた措置及びこれらの権利の享受についてもたらされた進歩に関する報告を国際連合事務総長を通じて委員会に提出することを約束する。」と記されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問2 次の文のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」の1「保育所保育に関する基本原則」(1)「保育所の役割」の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育所は、(a) 児童福祉法第39条の規定に基づき、(b) 保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設であり、入所する子どもの(c) 育みたい資質・能力を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい(d) 就学前教育の場でなければならない。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問3 次の文を「教育基本法」第10条の記述として完成させる場合、( A )～( C )の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 父母その他の保護者は、子の教育について（A すべての責任）を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。
- ・ （B 国及び地方公共団体）は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び（C 子育てのための給付）その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	○	○	×
2	○	×	○
3	○	×	×
4	×	○	○
5	×	○	×

問4 次の文のうち、「全国保育士会倫理綱領」の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

すべての子どもは、豊かな愛情のなかで心身ともに健やかに育てられ、自ら伸びていく

(a) 豊かな個性を持っています。

私たちは、子どもが現在(いま)を幸せに生活し、未来(あす)を生きる力を育てる保育の仕事に誇りと責任をもって、自らの(b) 保育技術と専門性の向上に努め、一人ひとりの子どもを心から尊重し、次のことを行います。

私たちは、子どもの育ちを支えます。

私たちは、(c) 保護者の子育てを支えます。

私たちは、子どもと子育てにやさしい(d) 環境をつくれます。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

問5 次の文は、「子ども・子育て支援法」第1条である。( A ) ~ ( D ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この法律は、我が国における急速な ( A ) の進行並びに家庭及び地域を取り巻く ( B ) の変化に鑑み、児童福祉法その他の子どもに関する法律による施策と相まって、子ども・子育て支援給付その他の子ども及び子どもを ( C ) に必要な支援を行い、もって ( D ) 子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	国際化	環境	養育している者	保育所に入所している
2	国際化	経済状況	保育している施設	一人一人の
3	少子化	環境	養育している者	一人一人の
4	少子化	環境	保育している施設	保育所に入所している
5	少子化	経済状況	養育している者	保育所に入所している

問6 次の文は、「子ども・子育て支援新制度」に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「子ども・子育て支援新制度」は、2012（平成24）年より施行された。
- 2 「子ども・子育て支援新制度」では、保育所、幼稚園、認定こども園を通じた共通の給付（施設型給付）と、小規模保育等への給付（家庭型保育給付）が創設された。
- 3 2019（平成31）年度4月の段階で、全ての私立幼稚園は「子ども・子育て支援新制度」に移行している。
- 4 「子ども・子育て支援法」により、「子ども・子育て会議」が設置された。
- 5 「幼児教育・保育の無償化」の対象には、「企業主導型保育施設」を利用する家庭は含まれていない。

問7 次の文を「保育所保育指針」第1章「総則」の3「保育の計画及び評価」(2)「指導計画の作成」の記述の一部として完成させる場合、( A )～( C )の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの( A 診断名)や障害の状態を把握し、適切な( B 環境)の下で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、指導計画の中に位置付けること。また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した支援のための計画を( C 詳細)に作成するなど適切な対応を図ること。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	○	○	×
2	○	×	○
3	○	×	×
4	×	○	○
5	×	○	×

問8 次の文は、地域の保護者等に対する子育て支援に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童福祉法」第48条の4には、「保育所は、当該保育所が主として利用される地域の住民に対してその行う保育に関し情報の提供を行い、並びにその行う保育に支障がない限りにおいて、乳児、幼児等の保育に関する相談に応じ、及び助言を行うよう努めなければならない。」と記されている。
- B 地域における子育て支援に当たっては、保育所の特性を生かして行うことが重要である。例えば、食事や排泄などの基本的な生活習慣の自立に関することや、遊びや玩具、遊具の使い方、子どもとの適切な関わり方などについて、一人一人の子どもや保護者の状況に応じて、具体的に助言したり、行動見本を実践的に提示したりすることなどが挙げられる。
- C 「児童福祉法」第6条の3において、一時預かり事業とは、「保育を必要とする乳児又は幼児であって、満3歳未満のものについて、当該保育を必要とする乳児又は幼児を保育することを目的とする施設において保育を行う事業」と記されている。
- D 「保育所保育指針」第4章「子育て支援」3「地域の保護者等に対する子育て支援」には、「地域の要保護児童への対応など、地域の子どもを巡る諸課題に対し、要保護児童対策地域協議会など関係機関等と連携及び協力して取り組むよう努めること。」と記されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○



問9 次の【Ⅰ群】の日本の保育施設の歴史に関する記述と【Ⅱ群】の最も関連の深い人名を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 季節託児所・農繁期託児所は、農繁期、漁期など保護者が農業漁業などで多忙な時期にのみ乳幼児を預かり、保育を実施した臨時の保育施設である。1890（明治23）年に鳥取県に開かれたものが最も古いとされている。
- B 子守学校は、学制発布後、子守のために学校に通えない農村や貧困家庭の女子を対象にした、子守をしながら小学校教育を受けられる施設のことをいう。『子守教育法』の著者が1883（明治16）年に茨城県に開設したのが始まりとされている。
- C 二葉幼稚園（保育園）は、1900（明治33）年、2人のクリスチャンにより東京市麹町区下六番町に設立された保育施設である。開園時は「二葉幼稚園」の名称が使用された。付近の貧困家庭の幼児を入園させ、良い環境で教育することを目的とした。1915（大正4）年「二葉保育園」と改称した。
- D 東京女子師範学校附属幼稚園は、1876（明治9）年、日本で最初の官立幼稚園として開設された。初代監事（園長）には関信三が就任した。

【Ⅱ群】

- ア 野口幽香
- イ 松野クララ
- ウ 箕雄平
- エ 渡辺嘉重

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ウ | イ | エ | ア |
| 2 | ウ | エ | ア | イ |
| 3 | ウ | エ | イ | ア |
| 4 | エ | イ | ウ | ア |
| 5 | エ | ウ | イ | ア |

問 10 次の文は、保育に貢献した諸外国の人物に関する記述である。( A )～( D )  
にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ ( A ) は、イタリアの医師・教育思想家である。1896 (明治 29) 年、ローマ大学で女性として初めて医学を修め、医師となる。障害児治療教育の先駆者イタールとセガンに影響を受け障害児教育に携わった。1907 (明治 40) 年、ローマに創設された「子どもの家」の保育で成果を収め、世界的に知られることとなった。
- ・ ( B ) の教育論の代表作『エミール』は、孤児の少年エミールを家庭教師「私」が育て上げるフィクションである。( B ) は本書において、人間を本源的に善であるとし、子どもを前理性的、前道徳的存在として尊重する消極的教育を最善のものとした。
- ・ ( C ) は、スイスの教育家であり、初等教育の父、民衆教育の父とも呼ばれる。孤児のための教育、民衆のための教育に人生をささげた。( C ) は、母性愛に基づく宗教・道徳的な教育を人間性の育成の基礎として位置づけ、教育における家庭的な環境と家族的な人間関係を重視した。著書に『隠者の夕暮』などがある。
- ・ ( D ) は、第二次世界大戦後、GHQ/SCAP (連合国軍最高司令官総司令部) 内に設けられた下部組織、CIE (民間情報教育局) 教育課の初等教育係官として、戦後日本の教育改革に携わった。戦後保育内容の基準となる『保育要領－幼児教育の手びき－』(1948 (昭和 23) 年) の枠組みを提示するなど、その作成過程において中心的な役割を果たした。

【語群】

ア ハウ (Howe, A. L.)	イ ヘファナン (Heffernan, H.)
ウ ペスタロッチ (Pestalozzi, J. H.)	エ ルソー (Rousseau, J.-J.)
オ シュタイナー (Steiner, R.)	カ ブルーナー (Bruner, J. S.)
キ モンテッソーリ (Montessori, M.)	ク マラグッツィ (Malaguzzi, L.)

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | キ | エ | ウ | イ |
| 2 | キ | エ | オ | ア |
| 3 | キ | カ | ウ | イ |
| 4 | ク | エ | オ | ア |
| 5 | ク | カ | オ | イ |

問 11 次の文を「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」第2条第7項の記述として完成させる場合、( A ) ～ ( C ) の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この法律において「幼保連携型認定こども園」とは、(A 義務教育) 及びその後の教育の基礎を培うものとしての満3歳以上の子どもに対する (B 教育) 並びに保育を必要とする子どもに対する保育を (C 積極的) に行い、これらの子どもの健やかな成長が図られるよう適当な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行うことを目的として、この法律の定めるところにより設置される施設をいう。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ |

問 12 次の文は、地域型保育事業に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「子ども・子育て支援法」第7条第5項において、「地域型保育」とは、家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育及び事業所内保育をいい、「地域型保育事業」とは、地域型保育を行う事業をいう。
- B 「児童福祉法」第6条の3第9項第1号及び第2号において、「家庭的保育事業」とは、当該保育を必要とする乳児・幼児の居宅において家庭的保育者による保育を行う事業をいう。
- C 「児童福祉法」第6条の3第10項第1号において、「小規模保育事業」とは、当該保育を必要とする満1歳未満の乳児の保育を行う事業であり、利用定員は6人以上19人以下である。
- D 「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」第43条において定められている「保育所型事業所内保育事業」とは、利用定員が20人以上のものに限る。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	×	○	×
5	×	○	×	×

問 13 次の文のうち、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の 1「保育所保育に関する基本原則」(5)「保育所の社会的責任」として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保育所は、(a) 子どもの発達過程に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行わなければならない。
- ・ 保育所は、地域社会との交流や連携を図り、保護者や(b) 家族に、当該保育所が行う保育の内容を適切に説明するよう努めなければならない。
- ・ 保育所は、入所する子ども等の(c) 個人情報を適切に取り扱うとともに、(d) 行政からの指導などに対し、その解決を図るよう努めなければならない。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問 14 次の文のうち、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の4「保育の実施に関して留意すべき事項」(2)「小学校との連携」の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、(a) 創造的な思考や主体的な生活態度などの(b) 技術を培うようにすること。
- ・ 保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、(c) 小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、第1章の4の(2)に示す「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との(d) 円滑な接続を図るよう努めること。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	×	○	○
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	×

問 15 次の文は、「保育所等関連状況取りまとめ（令和2年4月1日）」（厚生労働省）における保育需要及び供給の状況に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。ただし、ここでいう「保育所等」は、従来の保育所に加え、子ども・子育て支援新制度において新たに位置づけられた幼保連携型認定こども園等の特定教育・保育施設と特定地域型保育事業（うち2号・3号認定）を含むものとする。

- 1 この取りまとめは、全国の保育所等の状況を把握することを目的に毎年実施しているものである。
- 2 保育所等施設数は、平成31年と比べ増加している。
- 3 就学前児童の保育所等利用率は約5割である。
- 4 年齢区分別待機児童数では、低年齢児（0～2歳）が全体の約9割を占め、そのうち、特に0歳児が多い。
- 5 特定地域型保育事業数は、幼保連携型認定こども園の施設数を上回っている。

問 16 次の【Ⅰ群】の「保育所保育指針」第1章「総則」の1「保育所保育に関する基本原則」の項目名と、【Ⅱ群】の記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 保育の目標
- B 保育の方法
- C 保育の環境

【Ⅱ群】

- ア 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。
- イ 子どもの生活のリズムを大切にし、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整えること。
- ウ 子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境を整えること。
- エ 施設内外の適切な環境の維持に努めるとともに、子ども及び全職員が清潔を保つようにすること。また、職員は衛生知識の向上に努めること。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ |
| 2 | ア | イ | エ |
| 3 | イ | ウ | ア |
| 4 | エ | ア | ウ |
| 5 | エ | ウ | ア |



問 17 次の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の 1 「保育所保育に関する基本原則」(1)「保育所の役割」の一部である。( A ) ～ ( D ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育所における保育士は、児童福祉法第 18 条の 4 の規定を踏まえ、保育所の役割及び機能が適切に発揮されるように、( A ) に裏付けられた専門的知識、技術及び( B ) をもって、子どもを( C )するとともに、( D ) の保護者に対する保育に関する指導を行うものであり、その職責を遂行するための専門性の向上に絶えず努めなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	理論	判断	養育	地域
2	理論	目的	教育	地域
3	倫理観	判断	保育	地域
4	倫理観	目的	養育	子ども
5	倫理観	判断	保育	子ども

問 18 次の文は、職員の研修等に関する記述である。「保育所保育指針」第5章「職員の資質向上」の3「職員の研修等」及び4「研修の実施体制等」に照らし、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 保育士等の専門性の向上を図るために、職場内の研修に留まらず、関係機関等による外部研修を活用する。
- 2 日頃から職場内研修や、外部研修、自己研鑽により、職員間で専門性を高め合うことが重要である。
- 3 保育所においては、各職員のキャリアパス等を見据えて、ミドルリーダーから管理職員までの体系的な研修計画を作成しなければならない。
- 4 研修の受講は、特定の職員に偏ることなく行われるよう配慮する必要がある。
- 5 外部研修に参加する職員は、研修で得た知識及び技能を他の職員と共有し、保育所全体として保育実践の質及び専門性の向上につなげていくことが求められる。

問 19 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の3「3歳以上児の保育に関するねらい及び内容」ウ「環境」の一部である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
- 2 身近な物を大切にする。
- 3 自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
- 4 自分の物と人の物の区別や、場所的感覚など、環境を捉える感覚が育つ。
- 5 自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。

問 20 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

保育士として来年度0歳児クラスを担当する保育士Rは、新年度に向けて、共に同じクラスを担当する複数の保育士と、子どもたちのために適切な保育方法について話し合いを行いました。

**【設問】**

「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の1「乳児保育に関わるねらい及び内容」に照らし、保育士の対応として最も適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 子どもの特徴をふまえ、乳児保育に関わるねらい及び内容については「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」の五つの領域に沿った保育の展開を目指す。
- 2 特に入所したばかりの子どもに対して、早く保育所生活に慣れるよう、なるべく多くの保育士がさまざまな場面で関わるように配慮する。
- 3 離乳の開始は、それぞれの家庭の状況や発育状況によることなく、保育士が決定する。
- 4 この時期の子どもは、起きている時間が充実したものとなることが重要であるため、午睡の時間を削っても日中の保育活動の充実をはかる。
- 5 この時期の保育は、愛情豊かに、応答的に行われることが特に必要であるので、子どもと関わる時はそのように心掛ける。